岩手県立盛岡農業高等学校

令和7度 年間指導計画

整理番号 33

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教　科	農業	科　目	課題研究	単位数	2	学年・学科	2学年・A科
教科書			副教材				

学習目標	○研究対象の特徴を理解します。 ○課題を解決するために必要な知識や技術を習得します。 ○意欲的な態度を身につけ、課題解決に取り組み、農業の発展に寄与します。
学習方法	○調査、研究、実験に関するプロジェクト学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ります。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。 農業の各分野に必要な問題解決能力や自己教育力などの育成をするため、プレゼンテーションの基礎的な知識・技術を身につけ、データをまとめることができる。
	b	思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	農業に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

		重み付け	考査	考査外
		100%	0%	100%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
		100%	0%	100%
後期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
	思考・判断・表現	30%	0%	30%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	○課題設定 ○年間計画 ○事前学習	・研究テーマを決定します。 ・研究計画を立案します。 ・研究の実践方法を学習します。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：農業に関する現状について理解している。 b：農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。 c：農業に関する諸課題について関心を持つことができる。	・授業態度 ・レポート提出 ・記録簿提出
前期末	○飼育管理 ○発育調査 ○データ整理	・飼育に関する様々な管理をします。 ・発育に関する調査・研究をします。 ・研究データの整理をします。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：農業に関する現状について理解している。データをまとめることができる。 b：農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。 c：農業に関する諸課題について関心を持つことができる。	・授業態度 ・レポート提出 ・記録簿提出
後期中間	○飼育管理 ○発育調査 ○データ整理 ○盛農祭での演示・発表	・飼育の管理を継続します。 ・発育に関する調査・研究を継続。 ・研究発表の準備をします。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：農業に関する現状について理解している。データをまとめることができ、プレゼンテーション能力を身につける。 b：農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。 c：農業に関する諸課題について関心を持つことができる。	・授業態度 ・レポート提出 ・記録簿提出
後期末	○研究のまとめ ○発表 科内プロジェクト発表会 校内プロジェクト発表会	・研究データを解析し、研究のまとめをします。 ・発表原稿やプレゼンテーションの作成をし、発表の練習をします。 ・各種発表会に参加します。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：農業と環境に関する現状について理解している。データをまとめることができ、プレゼンテーション能力を身につける。 b：農業に関する思考を深め、農業に貢献しようとする意志が表現できる。 c：農業に関する諸課題について関心を持つことができる。	・授業態度 ・レポート提出 ・記録簿提出